



長谷川 広昌 議員

### 財政運営の課題について

**問** ポストコロナを見据え、財政運営のかじ取りに臨んでいただきたいと思うが、今後の具体的な取り組みは。

**答** アクションプランに掲げる「受益者負担の適正化事業」や「経常経費の見直し事業」を目指すべき姿の

実現に向け、さらに推進する。

**問** それぞれの課題は。

**答** 「受益者負担の適正化事業」については、施設使用料の見直しとそのマニュアル作り、「経常経費の見直し事業」については、経常経費を見直すための基本方針や基本計画の策定。

**問** 「受益者負担の適正化事業」に係る「施設使用料の見直し」は公平・公正なツールとなり得る「施設別行政コスト計算書」の作成が急務となると思うが。

**答** これまでも施設別の行政コスト計算書の作成に向け挑んできたが、今年度は公会計の分析に専門的な視点を活用し、課題の解決をしなが

ら作成をする。同時に「使用料や手数料を定期的に見直すための仕組みづくり」や「マニュアルづくり」を進める。

**問** 「経常経費の見直し事業」については、アクションプラン5年目の集大成となる令和4年度の当初予算編成で結果を出す必要があるが、どのようにして成果を出すのか。

**答** 来年度予算編成については、経常的な経費の削減だけに留まらず、全職員が全事業をゼロベースで考え、事業の見直しや再構築・廃止に向けた取り組みを行う。また、これまでの前例に捉われず、創意工夫した内容で実施していく。

### 障がい者等の在宅避難対策について

**問** 災害時でも自宅での居住の継続ができれば、変化の少ない生活を送ることができ、障害などをもつ方々の心身の安定に繋がると考える。そのライフラインの備えとして蓄電池やV2Hなどの設置補助施策を考えていただきたいが。

**答** 災害時に配慮を要する方々の在宅避難が可能となるよう設備整備費などの補助や貸与について、どのような方法が有効・有用であるか様々な観点から検討をしていく。



内藤 とし子 議員

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** コロナの今後のワクチン接種の状況について。

**答** 集団接種は6月17日から2回目の接種が開始。市の65歳以上の人口は9,899人で8,845人が予約済み。12日現在4,020人が接種済み。

21日から60歳から64歳の方に、28日から55歳から59歳の方に接種券を発行する予定。

**問** 市内にある保育園が休園に至った経緯と現状について。

**答** 休園当初に関係者4名が感染の事例あり。4園が休園。最大12日休園した。

### 生理の貧困の取り組みについて

**問** 「学生5人に1人が経済的理由により、生理用品入手に苦勞」とNHKが報じ衝撃が広がった。以来、自治体や国に対策を迫る声が一気に高まった。高浜市でも5月12日から防災備蓄用品を活用して、必要な方に無償配布を始めた。貴

重な取り組みで評価できるが、引き続き子どもの貧困対策として取り組むよう求める。高浜中学校では1つ借りていくと後で返却するとなっている。それでは無償配布にはならない。文科大臣からも「保健室に備えている生理用品を渡した場合、返却を求めない」と事務連絡が来ていると思うが今後は。

**答** 従来から困ったときには保健室にと、話してあり保健の先生が詳しく聴いている。忘れてたり、急な場合は後日返却してもらうが、家庭で用意できない場合は、返却を求めている。

**問** 誰でもが保健室に行けるとは限らない。保健室対応に加え、トイレ個室など他の方法も考えるべき。

**答** 保健室対応は今のところ変更する考えはない。

### 図書館行政について

**問** 図書館について2つ移転先を上げているがふさわしくない。市民の意見を聞いてから場所を決めてもよいと考えるが。

**答** 複合化効果をねらい、いきいき広場とかわら美術館を機能移転先として検討している。